



	English	中文	交通アクセス・地図	お問い合わせ	サイトマップ	サイト内検索
	受験生の方	広大へ留学希望の方	一般・地域の方	企業の方	卒業生の方	在学生・保護者の方

大学案内

入試情報

教育・学生生活

研究

社会連携

留学・国際交流

学部・大学院等

研究所・施設等

広報・報道

採用情報

校友会・同窓会

支援財団・基金

図書館・博物館等

大学病院

附属学校

[トップページ](#) > [広報・報道](#) > [報道発表・報道された広島大学](#) > [平成20年1月-12月](#) > [肝移植後の癌やC型肝炎の再発を予防する新たな細胞療法について](#)

肝移植後の癌やC型肝炎の再発を予防する新たな細胞療法について

広島大学学長室広報グループ

〒739-8511 広島市鏡山 1-3-2

TEL:082-424-6017 FAX:082-424-6040

E-mail: koho@office.hiroshima-u.ac.jp

(※@は半角に置き換え送信してください。)

NEWS RELEASE



平成20年5月8日

### 記者会見のご案内

肝移植後の癌やC型肝炎の再発を予防する新たな細胞療法について

広島大学大学院医歯薬総合研究科の大段秀樹教授らの研究グループは、強い抗癌作用を持つナチュラルキラー細胞(NK細胞)を、肝移植後の患者に投与し、自然免疫を増強して癌再発を予防する新たな制癌免疫療法を開発しました。

このような治療法は世界でも初めてであり、日本外科学会(開催日:5月15日)とアメリカ移植学会(開催日:5月30日~6月4日)で発表します。

肝臓に対する肝臓移植後には癌の再発が起こる場合があり、予防法の確立が望まれています。今回、研究グループは、移植時に提供された肝臓からNK細胞を効率よく抽出する技術を開発するとともに、培養して強い抗癌作用を誘導することに成功しました。このNK細胞を肝臓移植後の患者に投与する臨床治療では、副作用も癌の再発も現在のところ認められていません。また、このNK細胞には、移植後のC型肝炎ウイルスの増殖を抑制する効果もあることが分かり、現在、C型肝炎の再発を予防する細胞療法の研究を継続しています。

つきましては、下記のとおり記者会見を開催しご説明いたします。  
ご多忙の折、誠に恐縮に存じますが、是非ご出席いただきたくご案内申し上げます。

#### 記

開催日時: 平成20年5月14日(水) 14:00~14:40

場 所: 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター5階  
リエゾンコーナー509  
(TEL:03-5440-9065 広島大学東京リエゾンオフィス)

出席者: 大段秀樹(広島大学大学院医歯薬学総合研究科 教授)  
大平真裕(広島大学病院 医師)

※ 本件配信先:  
文部科学記者会、科学記者会、厚生労働記者会、広島市役所記者クラブ、専門業界紙、雑誌社

※ ご出欠について、お手数ですが別紙返信用紙に必要事項をご記入の上ご返送くださいますようお願い申し上げます。

【記者会見に関するお問い合わせ先】  
広島大学学長室広報グループ 担当: 山下、村上  
TEL:082-424-6131、6017

#### 広大公式アカウント一覧



Twitter



Facebook  
(日本語版)



Facebook  
(英語版)



YouTube



行事カレンダー



ストリートビュー



キャンパスカメラ



学内ポータル